平成24年３月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月28日

上 場 会 社 名　　片倉チッカリン株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4031　　URL　http://www.chikkarin.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)西見 徹
問合せ先責任者　(役職名)専務取締役財経本部長 (氏名)嶋田 豊　(TEL)03(5216)6611
四半期報告書提出予定日　　平成23年11月10日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	9,416	1.0	324	―	341	―	110	―
23年３月期第２四半期	9,327	△9.0	△89	―	△79	―	△70	―

（注）　包括利益　24年３月期第２四半期　104百万円(―%)　23年３月期第２四半期　△105百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年３月期第２四半期	5　17	―
23年３月期第２四半期	△3　30	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	19,264	10,784	56.0
23年３月期	21,594	10,679	49.5

（参考）　自己資本　24年３月期第２四半期 10,784百万円　23年３月期 10,679百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	―	3　00	―	0　00	3　00
24年３月期	―	0　00			
24年３月期(予想)			―	―	―

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
　平成24年３月期の期末及び年間の配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご覧ください。）

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	20,000	0.2	610	100.8	600	84.0	200	―	9　39

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注） 詳細は、４ページ【２．サマリー情報（その他）に関する事項】「（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	21,474,562株	23年３月期	21,474,562株
② 期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	185,616株	23年３月期	184,413株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	21,289,621株	23年３月期２Ｑ	21,294,244株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、３ページ【１.当四半期決算に関する定性的情報】「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 配当予想額につきましては、業績動向を見極めつつ、配当性向の目標を50%（連結ベース）とすることを公表しておりますが、国内外の経済状況や市場環境等の様々な要因により今後の業績は大きく変動する可能性があるため、期末及び年間の配当予想額は現時点では未定であります。なお、期末及び年間の配当予想額につきましては、今後の業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月に発生した東日本大震災や原子力発電所の事故の影響により急激に失速しました。その後、製造業の供給力が回復するなど震災による落ち込みは脱したものの、急激な円高、欧米の金融・財政不安などの国内外における経済不安定要因もあり、厳しい状況が続いております。

肥料業界におきましては、農業従事者の高齢化や後継者不足など農業の構造的問題と今夏の猛暑による作柄への影響に加え、地震と津波による被害、作付けや出荷の制限、風評被害などにより、農業生産の本格的な回復には至らない状況が続いております。

このような厳しい事業環境の下、当社グループは今年度よりスタートした新中期３ヵ年計画「復活　2013」に基づき、肥料事業分野では「安全・安心・良食味」の農産物生産に適した有機関連製品を中心に、各地域のニーズにきめこまかく対応した生産・販売体制の構築と、塩釜工場の操業再開に向けた取り組みを進めるとともに、経費の削減による収益力の向上に注力しました。また非肥料事業分野では化粧品関連製品の商品開発と拡販、食品・農産物の産地開拓と拡販に努めました。

肥料事業における震災による前年度末出荷遅れ分の挽回と肥料価格改定に伴う値上げ前の前倒し出荷があり、災害による損失105百万円を計上したものの、当該期間の営業成績は売上高9,416百万円（前年同四半期比1.0％増）、営業利益324百万円、経常利益341百万円、四半期純利益110百万円となりました。

各セグメント別の概況は以下の通りです。

肥料事業は、前述の要因から業績は順調に推移し、売上高は8,398百万円（前年同四半期比2.1％増）、セグメント利益は414百万円となりました。

飼料事業は、販売数量は増加したものの、販売単価が減少し、売上高は450百万円（前年同四半期比11.0％減）、セグメント利益は５百万円（前年同四半期比80.7％減）となりました。

不動産事業は、売上高は208百万円（前年同四半期比3.9％減）、セグメント利益は142百万円（前年同四半期比0.6％減）となりました。

その他事業は、化粧品関連及び食品・農産物関連が伸び悩み、売上高368百万円（前年同四半期比8.3％減）、セグメント損失24百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末（以下「当第２四半期末」という。）の資産の合計は19,264百万円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という。）に比べ2,329百万円減少しました。これは、主に現金及び預金が1,038百万円減少したこと、及び受取手形及び売掛金が1,148百万円減少したことなどによるものであります。

当第２四半期末の負債の合計は8,480百万円となり、前年度末に比べ2,434百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金が1,297百万円減少したこと、短期借入金が1,414百万円減少したこと、及び長期借入金が332百万円増加したことなどによるものであります。

当第２四半期末の純資産の合計は10,784百万円となり、前年度末に比べ104百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が110百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は前年度末の49.5％から56.0％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,038百万円減少し、992百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は151百万円（前第２四半期連結累計期間は366百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益（216百万円）、減価償却費（279百万円）、売上債権の減少（1,154百万円）及び仕入債務の減少（△1,297百万円）などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は96百万円（前第２四半期連結累計期間は222百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出（△147百万円）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1,094百万円（前第２四半期連結累計期間は382百万円の減少）となりました。これは、主に短期借入金の減少（△1,415百万円）及び長期借入による収入（350百万円）などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間の業績は当初予想を大幅に上回る実績となりましたが、震災や原子力発電所事故の影響が続くとともに、たばこの廃作募集など農産物生産を取り巻く状況は厳しく、また、今後の原燃料価格の動向も不透明であり、引続き厳しい事業環境が継続するものと考えられ、通期の利益見通しは、平成23年５月18日の決算短信の発表時より若干の上方修正に止まると予想しております。

当連結会計年度（平成24年３月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高20,000百万円、連結営業利益610百万円、連結経常利益600百万円、連結当期純利益200百万円を見込んでおります。

なお、平成23年５月18日の決算短信で発表しました通期連結業績予想との差異は以下の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 21,000	百万円 530	百万円 530	百万円 180	円 銭 8.45
今回修正予想（B）	20,000	610	600	200	9.39
増減額（B-A）	△1,000	80	70	20	－
増減率（%）	△4.8	15.1	13.2	11.1	－
前期実績 （平成23年3月期）	19,966	303	326	△513	△24.14

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べ処理しております。

② 税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（２）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,085	1,046
受取手形及び売掛金	4,988	3,839
商品及び製品	2,610	2,585
仕掛品	105	89
原材料及び貯蔵品	2,223	2,439
その他	380	461
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,391	10,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,782	2,667
機械装置及び運搬具	1,321	1,228
土地	3,613	3,613
その他	125	123
有形固定資産合計	7,843	7,633
無形固定資産	30	29
投資その他の資産		
その他	1,354	1,165
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	1,328	1,141
固定資産合計	9,202	8,803
資産合計	21,594	19,264

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,751	2,454
短期借入金	3,855	2,441
未払法人税等	34	126
賞与引当金	98	116
災害損失引当金	195	105
その他	1,432	1,378
流動負債合計	9,368	6,623
固定負債		
長期借入金	122	454
退職給付引当金	728	687
役員退職慰労引当金	185	214
その他	509	500
固定負債合計	1,545	1,856
負債合計	10,914	8,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,549	3,549
資本剰余金	3,083	3,083
利益剰余金	4,112	4,222
自己株式	△65	△65
株主資本合計	10,681	10,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△6
その他の包括利益累計額合計	△1	△6
純資産合計	10,679	10,784
負債純資産合計	21,594	19,264

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	9,327	9,416
売上原価	7,642	7,305
売上総利益	1,685	2,111
販売費及び一般管理費	1,775	1,786
営業利益又は営業損失（△）	△89	324
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	1	2
その他	31	33
営業外収益合計	34	37
営業外費用		
支払利息	21	19
その他	2	1
営業外費用合計	24	20
経常利益又は経常損失（△）	△79	341
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	－
固定資産売却益	14	0
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	12
災害による損失	－	105
その他	58	7
特別損失合計	66	125
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△130	216
法人税、住民税及び事業税	△59	106
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	△60	106
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△70	110
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△70	110

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△70	110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△5
その他の包括利益合計	△35	△5
四半期包括利益	△105	104
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105	104

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△130	216
減価償却費	303	279
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△1
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3	△39
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	21	19
有形固定資産売却損益（△は益）	△14	△0
有形固定資産処分損益（△は益）	6	8
災害による損失	－	105
売上債権の増減額（△は増加）	1,327	1,154
たな卸資産の増減額（△は増加）	27	△180
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,113	△1,297
未収消費税等の増減額（△は増加）	－	75
未払消費税等の増減額（△は減少）	△105	27
その他	△172	△145
小計	150	218
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△21	△19
法人税等の還付額	231	14
災害損失の支払額	－	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	366	151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△54	△54
定期預金の払戻による収入	54	54
有形固定資産の取得による支出	△225	△147
有形固定資産の売却による収入	31	35
長期預り保証金の返還による支出	△2	△4
その他	△26	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△280	△1,415
長期借入金の返済による支出	△9	△17
長期借入れによる収入	－	350
リース債務の返済による支出	△7	△11
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	－
配当金の支払額	△85	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382	△1,094
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△238	△1,038
現金及び現金同等物の期首残高	857	2,031
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	645	992

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	肥料	飼料	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,226	506	192	8,926	401	9,327	—	9,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	24	24	—	24	△24	—
計	8,226	506	217	8,950	401	9,352	△24	9,327
セグメント利益又は損失(△)	△19	31	143	154	△23	131	△220	△89

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品関連、食品・農産物及び物資その他の各事業を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△220百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	肥料	飼料	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,398	450	198	9,048	368	9,416	—	9,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10	10	—	10	△10	—
計	8,398	450	208	9,058	368	9,426	△10	9,416
セグメント利益又は損失(△)	414	5	142	563	△24	539	△214	324

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品関連、食品・農産物及び物資その他の各事業を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△214百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。